

# 会報 五十嵐

北陸電波学校  
北陸電波専門学校  
北陸電波高等学校  
金沢工業大学附属高等学校  
金沢工業高等専門学校  
国際高等専門学校  
金沢工業大学

VOL  
**74**  
2024.6

## 復興に向け、同窓生の力。 令和6年能登半島地震

令和7(2025)年4月

金沢工業大学は  
6学部17学科体制へ(設置届出中)

感性教育の拠点が完成

五十嵐威暢アーカイブ

学生の教育プログラムにも活用する五十嵐威暢アーカイブでは、リアルな展示を体感することで、想像力に磨きをかける



輪島市三井町の仮設住宅の建設現場。上が石川モデル、下が熊本モデルの仮設住宅のイメージベースで、プレハブと違って木造の恒久的な仕様で計画。現在、石川県木造住宅協会担当の11団地の計画を進めている。



# 復興に向け、同

## 令和6年 能登半島地震

### 震災あの日、あの時

#### 経験したことのない揺れ

元日の夕方、16時6分。少し大きめの地震が起き、各家庭では「地震だったね」「揺れたね」と話せるほどの余裕がありました。

しかし、その4分後の16時10分。石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する地震が発生したのです。これまで経験したことのない激しい縦揺れと横揺れで、立ってられないほどでした。

ほとんどの人たちが、どうしたらいいのかすぐに行動できない状況で、スマートフォンで家族や友人の安否を確認する姿が見られました。

#### 珠洲市で9割が倒壊

しばらくすると、被害の状況が少しずつ見えてきました。珠洲市では、ほとんど立っている家がないほどで、9割近くが全壊、ほぼ全壊という状況でした。輪島市では、観光名所「朝市通り」で火災が発生し、200戸以上が焼け、およそ5万平方メートルが焼失しました。

最大で断水は約11万戸、停電約4万戸が発生し、いまだ約3,780戸で断水が続いています。また、住宅被害約7万8,560戸で、建物の倒壊や津波の被害、地盤の隆起も確認されています。

復旧復興の道筋はまだ見えておらず、被災地への継続的な支援が必要となっています。

(4月30日時点)

## 設計の力

### 山岸敬広さん

山岸建築設計事務所社長  
(大学院・建築学専攻・平成15年卒)



人々のコミュニティと  
大事な風景を残したい

当時は石川県野々市市周辺で車を運転していました。車に乗っていてもすごい揺れでしたね。家族の無事を確認した後、事務所に被害がないか見に行きました。

当社は約50人のスタッフがあり、安否確認も欠かせません。実際、本人は大丈夫でも親族に被害がある方もいて、フォローに努めました。

現在取り組んでいるのが、仮設住宅の設計などです。石川県では、「熊本モデル」と「石川モデル」と呼ばれる木造の仮設住宅の建設が進んでいます。

「熊本モデル」は仮設住宅としての2年間の入居期限が過ぎた後も、市営住宅などに転用され、長期的に住み続けることが可能

です。「石川モデル」はさらに踏む込み、住宅再建が困難な被災者向けとして、無償提供期間が終わっても賃貸や有償譲渡で数十年住むことができます。

私たちが仮設住宅の団地を設計する上で大切にしているのが住む人々のコミュニティの形成です。人と人とのつながりがあるこそ、団地としてのまとまりができます。何気ない日常、自然に恵まれた能登の暮らしや営みがこれからも続いていくことを願っています。

何百年という時の流れを経て、現在の町並みが形作られています。周囲の環境との調和を考えながら、既存の樹木などを残し、その土地の風景を引き継いでいけるよ

うに計画しています。私たちが生きているのは一瞬のきらめきほどの時間です。しかし、町並みはいつまでも残っていきます。その大事な風景を残していくのが、設計士である私たちの仕事です。

# 窓生の力

令和6(2024)年1月1日、石川県能登地方を震源とする最大震度7の大地震が発生しました。石川県を中心に被害は富山県や新潟県などにも及び、大きな爪跡を残しました。最大震度を記録した志賀町に住むこぶし会会員2人のコメントとともに、復興に携わるこぶし会会員の奮闘ぶりを紹介します。

## 消防の力

### 長野幸浩さん

長野ポンプ代表取締役  
(高専・機械・昭和57年卒)  
(大学・機械・昭和59年卒)



消防士や消防団員の  
消防車両をサポート

震災当日は家にいました。1度目の地震は比較的小さな地震でしたが、2度目の大きな地震が来た時、「大変なことが起こった」と即座に感じました。

弊社は消防車両の設計・製造・販売で、能登にも多くの車両を納入しています。そのため、平成19(2007)年に起きた能登半島地震を思い出し、人命救助や消火活動に従事する消防士や消防団員のサポートが真っ先に必要だと考えました。

実は、震災発生地の消防士や消防団員も被災者です。そんな中、家族のことを気にしながら活動しています。また、食べ物は被災者に優先的に回されますので、消防士らは飲まず食わずで職務に当たることも少な

くありません。

私は1月3日、できるだけ多くの食料と水を持って、能登に向かいました。大動脈であるのと里山海道は通れませんでしたので海岸線を通り、輪島市まで4時間で到着。地元消防の方と話す、自宅が全壊したり、全焼したりした人もいて、職業とは言え、責任を全うする姿に頭が下がる思いでした。

その後、支援物資が届き始める7日ごろまで、会社全体で支援物資を届け続けました。能登で稼働している消防車両の90%は、弊社が納入したものですので、被害を受けた車両がないか調査して、各自治体に報告しました。

今回の震災では、弊社の消防車両が力

を發揮したようです。ボディをアルミにして小型でありながら水の積載量を多くしたもので、細い路地でも現場に到着できます。

消防車両は最前線で活躍する消防士や消防団員が職務を遂行するための“武器”です。私たちは、その武器の性能を高め、いざという時に力を發揮できるよう、これからも努力を続けていきます。

## 国の力

### 杉本 敦さん

国土交通省北陸地方整備局  
能登復興事務所長  
(大学・土木・平成4年卒)

私は石川県かほく市の出身です。地震発生時は、国土交通省本省で全国の直轄道路の管理・防災を担当しており、今回、国の復興の窓口となる能登復興事務所の所長として着任しました。道路や河川、砂防、海岸の事業全般を担当しますので身の引き締まる思いです。

担当する事業は、全て早期の生活再建につながります。例えば、のと里山海道は、金沢から輪島へと向かう方向は全線復旧していますが、輪島から金沢に向かう方向は、復旧できておらず、一日も早い上下線の復旧を目指します。

また、観光名所として知られる「白米の千枚田」では大きな土砂崩落がありました。千枚田を管理する名舟地区から千枚田ま

での移動時間は、地震前は10分ほどでした。地震後は1時間半もかかりましたが、隆起した海岸線を活用し通行出来るようになりました。また、通行できない箇所は、工夫しながら早く道路をつなげたいと思っています。

事業を進めるには、県や市町との連携が大切です。幸いにも県の担当課長は同級生の小寺基さん(大学院・土木工学専攻・平成6年卒)だったのは、心強いですね。スピード感を持って作業を進めていきます。道路だけでなく、安心して生活できるよう、河川や砂防、海岸の復旧にもしっかり対応します。

難しい工事であればあるほど、土木技術者の腕の見せどころです。直った時に見



道路の復旧によって  
早期の生活再建を

る地域住民の方の笑顔が何よりの喜びです。復興への道のりは長くなるでしょうから、全身全霊をかけて職務に当たる所存です。この事務所の看板を外す日は、能登の復興が終わった時です。そんな日が少しでも早くなるように微力ながら頑張ります。



### 田端政一さん

石川支部副支部長  
(大学・土木・昭和58年卒)

#### 普通の生活があがたい

地元・志賀町の神社で初詣を済ませ、自宅に隣接する事務所の中でのんびりしていたところ、1回目の緊急地震速報のアラームが鳴り響きました。収まったかと思った次の瞬間、さらに立つこともできないほどの大きな揺れが襲い、事務所の棚やパソコンが倒れました。

すぐに自宅に戻ると、妻が倒れた家具の下からはい出てきました。幸いにもけがはありませんでした。余震が続くので屋外に出ると、大津波警報が出たので避難するようにと指示があり、近所のお年寄りを車に乗せて高台に避難しました。

自宅は半壊、納屋倉庫は全壊となりました。金沢工業大学で過ごした4年間を除いて、60年間住んできた普通の田舎町ですが、普通の生活があがたいのだと思います。これからもこの地に根を張って生きていきます。

#### 被災した方々のメッセージ

### 寺澤智之さん

石川支部副支部長  
(大学・土木・昭和62年卒)



#### 地元の復興に協力を

地震発生時は、金沢市の金沢港近くの商業施設の駐車場で車の中にいました。すごい揺れを感じ、徐々に強くなっていき、1分以上続いたように思います。ブレーキをかけていても車が揺れて、後ろの車にぶつかりそうでした。

自宅(志賀町)に帰ると水道管が破裂していて、近くの県道は幅員の半分が崩壊し、隣の公民館の駐車場は液状化現象で水が噴き出していました。自宅の敷地内にも地割れが発生したため、母屋と事務所も少し傾きました。奇跡的に棚やタンスなどは倒れず、ガラスが割れることはありませんでした。

この地震で、見慣れた景色が壊れてしまったのはつらいです。仕事は建設業を営んでいるので、地元の復興に協力していきたいと思っています。とにかく楽しく笑って過ごせる日が来てほしいですね。

# 学園も共にサポート

## 穴水町で学生が災害ボランティア

今回の大地震を受けて金沢工業大学 学友会では、2月26・27日、3月11・12日の4日間、石川県穴水町で災害ボランティアの活動をし、復興を支援しました。

当地は、令和3(2021)年に惜しまれながら閉苑した「穴水自然学苑」があった学園ゆかりの地であり、ボランティア活動の場所を選びました。

扇が丘キャンパスを出発した学生は、穴水災害ボランティアセンターに到着後、4班に分かれて町民に希望するボランティアの内容を聞き取り調査しました。さらに、タンスや冷蔵庫の運び出し、瓦の撤去や土嚢袋に土を詰める作業などを行いました。

後日、同センター職員や町民の方々から「学生からすごく元気をもらった」などといった声が届きました。また、参加した学生は「被災地域には高齢者が多く、若者の力が必要だと思った」「穴水町のために活動できるのはうれしい」という感想が聞かれました。今回、こぶし会では、学生の災害ボランティア活動に対し、移動費用等の支援を行いました。



災害ボランティア活動をする学生たち

## 一日も早い復興を

こぶし会会長  
松田真一



本年1月1日に発生いたしました令和6年能登半島地震において、犠牲となられた皆さまに対し、深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

このたびの震災は、石川県を中心に、富山県、福井県、新潟県と、広範囲にわたる地域が被害を受け、その被害の大きさに心を痛めております。一日も早く平穏な日常生活を取り戻されることを願うばかりです。

こぶし会としては今後、この震災に遭われた皆さまに寄り添い、支えになればと考えております。皆さまの安全と被災地の一日も早い復旧および復興を心よりお祈り申し上げます。

## こぶし会会員の支援

### ペットボトル600ケース届ける

谷垣和伸和歌山支部長(大学・土木・昭和56年卒)は、輪島市にペットボトル600ケースを届けました。

谷垣支部長は和歌山県から車で支援物資を運び、関家史郎さん(大学・土木・平成8年卒)、本多巖さん(大学・土木・昭和59年卒)も荷下ろしなどを手伝いました。



支援に駆け付けた皆さん

### ラーメン1,000食を援助

坂本誠二福島支部長(大学・機械・昭和53年卒)は穴水町などに喜多方ラーメン1,000食を援助しました。

### 義援金を集めて寄付

沖縄支部は支部総会の参加者から被災地を支援したいとの声が聞かれたことから、義援金として52万7,000円を石川県に寄付しました。

## 令和6年能登半島地震の義援金募集について

こぶし会は、能登半島地震で被災した方々への義援金を募ります。寄付していただいた全額を、石川県を通じて被災した方々の生活支援などに役立ててもらいます。会員の皆さまの温かいご協力をお願いいたします。

振込口座 **はくさん信用金庫 野々市支店**  
(ハクサンシンヨウキンコノノイチシテン)  
普通 **0544057**

振込先

口座名義 **こぶし会令和6年能登半島地震災害義援金 会長 松田 真一**  
(コブシカイレイワロクネンノハントウジシンサイガイギエンキンカイチヨウマツダシンイチ)

依頼人の欄にお名前、学科、卒業年をご記入ください。例)コブシタロウ デンキ H10

※払込手数料は各自でご負担ください。※現金の直接持参や物品はお受けできません。

領収書発行および  
税額控除

この義援金に関する領収書の発行は行いません。そのため、寄付金扱いにはならず、税法上の優遇措置の対象外となります。

受付期間

令和6(2024)年9月30日(月)まで。

● 問い合わせ先  
こぶし会事務局まで

### こぶし会

## 会員数は81,686名に

高専・大学で同窓会入会式

令和6(2024)年の入会式が高専同窓会は3月1日、大学同窓会は3月15日にそれぞれ行われ、こぶし会の未来を担う新会員の加入に期待を膨らませました。

卒業式後に行われた入会式では、野中正樹高専同窓会長(高専・機械・昭和49年卒)が「こぶし会と高専同窓会の活動に参加してください」、古橋孝実大学同窓会長(大学・建築・平成8年卒)が「同窓会活動への積極的なご参加を心よりお待ちしております」と歓迎の言葉を贈りました。高専では畠中義基さん(国際理工学科)、大学は、幹事を代表して長谷川友紀さん(メディア情報学科)が入会の詞を読み上げました。

今年の新会員は、高専同窓会が6名、大学同窓会が1,476名でした。



大学の入会式で入会の詞を読み上げる長谷川さん(中央)

## 機扇会

機械工学科・機械システム工学科・物質応用工学科・先端材料工学科・物質システム工学科・ロボティクス学科・航空システム工学科

## 38名の卒業生に機扇会賞

### 学位授与式で授与

令和6(2024)年3月15日に挙行された学位授与式において、機扇会賞が機械工学科20名、航空システム工学科8名そしてロボティクス学科10名の計38名の卒業生に授与されました。

機扇会賞は学位授与式に合わせて、プロジェクトデザインⅢで優秀な成果を挙げ、各研究室の指導教員より推薦された卒業生に機扇会賞を授与しています。「1.プロジェクトデザインⅢに対する意欲や取り組む姿勢」、「2.ユニークで創造性に富んだアイデアの発揮度」、「3.問題解決に対する自主的な努力度」、「4.すぐれたリーダーシップ性や人間性」といった観

点から各研究室1名の学生が推薦されました。

機扇会では、その他にも在学学生をエンカレッジするため、研究奨励補助や授業におけるものづくり表彰を行っているほか、卒業生の機扇会会員を対象とした交流会を継続的に実施しております。これらの活動に対しご理解いただくとともに、交流会などに積極的にご参加いただければ幸いです。

なお、令和5(2023)年度はホームカミングデーとの日程調整不備のため実施できなかった交流会を今年度は実施したいと計画しております。詳細



中田会長から機扇会賞が手渡されました

が決まり次第、こぶし会ウェブサイトにてご案内いたしますので、ぜひ定期的にごぶし会ウェブサイトをのぞいてみてください。

告知



講演

堀 敬太さん

令和6(2024)年 8月17日(土)  
第43回夏の異業種交流会

## 人材サービスの歴史と現状

会場:こぶし会多目的ホール(対面とオンライン併用のハイフレックス型式)

第43回夏の異業種交流会は令和6(2024)年8月17日にこぶし会多目的ホールで開催いたします。今回は株式会社ワイズ専務の堀敬太氏(大学・経営・平成9年卒)が講演予定です。卒業生の方ならどなたでも参加できますので、経工会およびこぶし会ウェブサイトからお申し込みください。

参加無料



経工会

## モビリティ・エネルギーシステムに期待

### 第42回異業種交流会

第42回冬の異業種交流会は令和6(2024)年1月20日、こぶし会多目的ホールで開かれ、金沢工業大学情報フロンティア学部経営情報学科の大澤潤講師が「カーボンニュートラルとモビリティ・エネルギーシステム」と題して講演されました。

講演では、パリ協定やTCFD提言など、国際的に関心度の高いカーボンニュートラル宣言に至るまでの社会動向について整理するとともに、金融機関のESG投資の拡大による企業経営への影響やサプライチェーンを通じた温室効果ガスの排出量の把握・情報開

示・削減などを解説しました。また、モビリティ・エネルギーシステムの設計と運用について、将来、この分野で期待されるイノベーションと課題についても触れました。

## ながつき会賞を授与

### 76名が入会

ながつき会の入会式は令和6(2024)年2月9日、卒業を控えた学部4年次76名ならびに教員・ながつき会会員の計82名が21号館2階「イルソーレ」で開催されました。

入会式は、卒業のお祝いと激励、「ながつき会入会式」を兼ねて実施しています。今年は54期生が入会し、河村柚香さんが幹事として入会の宣言を行いました。1期生の千田努副会長(大学・土木・昭和46年卒)が、ながつき会の由来、ながつき会の活動など説明しま



入会式に出席された皆さん

した。

ながつき会会員も参加したほか、教員ならびに学生がともに終始なごやかな雰囲気ですべて、互いの絆を深めま

した。入会式の締めとして3期生の浦勝久理事(大学・土木・昭和48年卒)からエールが送られ、記念撮影が行われました。

☑ <sup>ほじかい</sup> 保二会

北陸電波学校・北陸電波専門学校・北陸電波高等学校・  
金沢工業大学附属高等学校

7月7日に文化講座を開催

同窓のつどいは9月1日

今回の文化講座は京都府舞鶴市にある海上自衛隊舞鶴地方隊の基地を見学します。また、同窓のつどいも開催いたします。

文化講座

- 日 時：令和6(2024)年7月7日(日) 出発6:30、解散18:00
  - 募集人数：先着20名(こぶし会会員のみ)
  - 参加費：10,000円(バス代・昼食代・旅行保険代含む)
  - 締 切：令和6(2024)年6月21日(金)
- ※参加者には詳細を個別に郵送で連絡いたします。  
●こぶし会ウェブサイトからお申し込みください。

同窓のつどい

- 日 時：令和6(2024)年9月1日(日) 受付16:30～、17:00～
  - 場 所：ANAホリデイ・イン金沢スカイ
  - 参加費：8,000円
- 申し込み/お送りする往復はがきでお申し込みください

☑ <sup>せんしょうかい</sup> 扇翔会

情報処理工学科・情報工学科・メディア情報学科

10月19日に開催

卒業生懇親会

こぶし祭(工大祭・高専祭併催)の開催に合わせて、令和6(2024)年10月19日に「卒業生懇親会」を開催いたします。学科の現状報告および教員との交流を企画しております。情報処理工学科、情報工学科、メディア情報学科の卒業生の皆さまの参加を心よりお待ちしております。

- 日 時：令和6(2024)年10月19日(土)
  - 場 所：金沢工業大学内
- ※開催場所・時間の詳細は決まり次第、facebook  
(<https://www.facebook.com/sensyoukai>)で案内いたします。

- 会 費：無料
- 申込締切日：令和6(2024)年10月12日(土)
- 申 込 先：「扇翔会」卒業生懇親会 申込フォーム  
<https://forms.office.com/r/GiOSLNvCZZ>



扇翔会

☑ <sup>こぼくかい</sup> 琥睦会

電気工学科・電子工学科・電気電子工学科・情報通信工学科・電子情報通信工学科

240名が新たに入会

はなむけの言葉贈る

令和5(2023)年度入会式は、令和6(2024)年2月9日、新会員や先生方などが出席し、21号館1階ラテラで開催されました。

最初に吉井源治琥睦会会長(大学・電子・平成5年卒)より卒業生に対して祝辞を述べ、琥睦会の活動などを説明しました。その後、古橋孝実大学同窓会会長(大学・建築・平成8年卒)、電気電子工学科主任の野口啓介教授(大学・電子・平成2年卒)が卒業生に対し、はなむけや激励の言葉を述べました。

新会員を代表して松本裕貴さん(津田研究室)が入会を宣言し、新幹事に選ばれた吉野剛央さん(林研究



盛り上がりを見せた琥睦会の入会式

室)、早本圭吾さん(宮城研究室)、稲垣拓人さん(林研究室)、多保田朋生さん(林研究室)を紹介しました。卒業生並びに教員が終始、にぎや

かな雰囲気での歓談し、吉野剛央さんの万歳三唱で入会式を締めました。今年の入会者は240名となりました。

支部編

## 沖縄支部

### 親交を深めて交流

沖縄支部の支部総会は令和6(2024)年1月20日、沖縄県那覇市のホテルサンパレス球陽館で10名が参加して行われ、久しぶりに顔を合わせた会員同士が近況を話しながら旧交を深めました。



沖縄支部総会に参加した皆さん

#### 告知

#### 令和6(2024)年度支部総会日程

■ 道東支部	7月27日(土)	■ 岐阜支部(岐阜)	7月13日(土)
■ 新潟支部	7月21日(日)	■ 岐阜支部(高山)	7月27日(土)
■ 富山支部	7月13日(土)	■ 沖縄支部	令和7(2025)年1月18日(土)

開催の決まった各支部につきましては、こぶし会ウェブサイトで紹介します。



第1回記念射会に参加した皆さん

## 弓道部OB・OG会が発足

### 第1回記念射会も開催

弓道部OB・OG会発足記念総会・パーティーが令和5(2023)年11月3日、金沢市の金沢国際ホテルで74名が出席して開かれ、新たな同窓会組織の誕生を祝いました。翌日には、石川県立武道館弓道場で第1回の記念射会が開催されました。

弓道部は、昭和48(1973)年3月に1期生が卒業し、50年を超える歴史の中で400人を超えるOB・OGを輩出しています。

サポートします!

## こぶし会同窓会応援

こぶし会では、卒業生のクラス会や研究室(ゼミ)、部活動等の同窓会を支援しています。



女子バスケットボール部創部30周年記念会

#### 支援内容

- 1団体(会員が30人以上参加)ごとに1人500円相当の記念品か支援金のいずれかを提供します。

- 問い合わせ こぶし会事務局

金沢工業大学は令和7(2025)年4月、6学部17学科体制に改組し、「文理の枠を超えた社会実装型総合大学」として新たな一歩を踏み出します。“専門分野”と“情報技術”を軸に据え、あらゆる分野との連携教育研究を推進します。

金沢工業大学は

# 令和7(2025)年4月、 6学部17学科体制へ (設置届出中)

## 文系と理工系が高め合う

現代は、社会の課題が複雑・多様化しています。そのような時代に大学が適応するには、文系と理工系を志向する学生がコミュニケーションを取りながら、互いに高め合う学習環境が必要となります。

今回の学部学科の改組計画は、学生が描く将来像を実現することを可能にします。そして、新たな価値とビジ

ョンを創造することで、学生は真の課題を追究して解決できる人材へと成長していきます。

## 文理の枠を超えた教育を

持続可能な社会を実現する「SX※1」に向けて、世界はかつてないスピードで変化しています。世界各国やグローバル企業が求めるのは、地球温暖化対策と経済成長を両立できる産業構造への変

革を図る「GX※2」や、デジタル技術で生み出した新たな製品とサービスでビジネスを変える「DX※3」の実現です。

このような社会を現実のものとするため、金沢工業大学は文理の枠を超えた教育を提供することで、社会に貢献していきます。

- ※1 サステナビリティ変革
- ※2 グリーン変革
- ※3 デジタル変革

## 新設される学部。社会の変革を加速。



## Society 5.0 社会の課題に応える学びに挑戦



- AI時代に求められる“専門分野×情報技術”の専門人材の育成
- 文理の枠を超えた社会実装型教育研究プロジェクトの実践

# 社会実装型総合大学に進化

## 学長 大澤 敏氏

### ポイントは「情報技術」

今回の6学部17学科の改組は、開学以来の大きなチャレンジで、金沢工業大学は理工系大学から社会実装型総合大学へと進化することになります。

キーワードとなるのはAI、データサイエンスをはじめとする「新しい情報技術」です。

生成AIをはじめ、DXやGX(カーボンニュートラル)が急速に進展する中で、「新しい情報技術」は人類の産業構造や生活に変革をもたらす、今後の社会をリードすると考えられます。

そこで、「新しい情報技術」を全学共通の基本教育とし、従来の専門教育と融合させることで、新しい学びを創造します。

### 文理探究と情報×理工学

改組計画のポイントは、情報系の3学部を再編した点にあります。

す。情報デザイン学部とメディア情報学部は“文理探究”の学部、情報理工学部は“情報×理工学”の学部です。

特に“文理探究”の学部は、社会課題を解決するには技術だけでなく、文化や芸術、生活などを網羅する文系の視点も重要になります。そこで、これまでの金沢工業大学の教育の枠を超え、教育そのものを根本的に変えていきます。そのため、文系志向の学生を積極的に受け入れます。

理工系志向の学生は技術を深掘りする傾向にあり、文系志向の学生は幅広い知見を活用する傾向にあります。両者が一緒の空間で学べば、文理共創の社会の有り様と同じキャンパス環境が生まれます。それが社会実装型総合大学としての姿です。

### 未来を構想するデザイン力

ここで大事になってくるのが「デ



ザイン力」です。例えば、10年後の世界はどうなっているかは誰にも分かりませんが、未来を構想してビジョンを作ることはできます。その時に必要なのがデザイン力なのです。学生には、自分の人生も含めてデザインしてほしいと思っています。

金沢工業大学は、“理工学”のアイデンティティを残しながら、女性の比率を高めていき、世代、分野、文化を超えた重層的な総合大学へと生まれ変わります。この改組計画が、金沢工業大学のブランド力を高め、サステナブルな世界の形成(SX)につながるよう、努力していきます。

## 令和7(2025)年度からの学部・学科構成(設置届出中)

情報デザイン学部 設置届出中	経営情報学科 設置届出中	環境デザイン創成学科 設置届出中	
メディア情報学部 設置届出中	メディア情報学科 設置届出中	心理情報デザイン学科 設置届出中	
情報理工学部 設置届出中	情報工学科 設置届出中	知能情報システム学科 設置届出中	ロボティクス学科 設置届出中
バイオ・化学部	環境・応用化学科 名称変更届出中		生命・応用バイオ学科 名称変更届出中
工学部	機械工学科 設置届出中	先進機械システム工学科 設置届出中	航空宇宙工学科 名称変更届出中
	電気エネルギーシステム工学科 設置届出中	電子情報システム工学科 設置届出中	環境土木工学科
建築学部	建築学科 設置届出中	建築デザイン学科 設置届出中	

令和7(2025)年設置届出中。設置計画は予定につき、内容を変更する場合があります。



初期の金沢工業大学のロゴマーク



設展示、展示室 B は「感性教育」に触れられる企画展示を行っています。

企画展示は3カ月に1度のペースで開催する予定で、収蔵品の中からテーマに沿った作品を展示します。また、定期的鑑賞ワークショップも開催しています。



五十嵐威暢氏プロフィール

デザイナー、彫刻家  
元多摩美術大学学長  
代表作: サントリー、明治、PARCOのロゴマーク  
EXPO'85のポスターなど

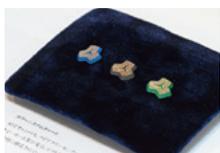
ライブラリーセンター内  
感性教育の  
拠点がオープン

たけのぶ  
五十嵐威暢アーカイブ

- 入館料: 無料
- 開館時間: 10:00 ~ 17:00
- 休館日: 年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休暇

金沢工業大学は、国際的に活躍する彫刻家でグラフィックデザイナーの五十嵐威暢氏から約 5,000 点の作品や資料の寄贈を受け、感性教育の拠点となる「五十嵐威暢アーカイブ (以下、五十嵐アーカイブ)」をライブラリーセンター内に令和 5 (2023) 年 11 月 1 日、オープンしました。一般の方の利用も可能です。

これからは、人間本来の「見る力」「感じる力」「考える力」を身につけた人材を育成することが不可欠です。感性教育は日々、重要性を増しており、五十嵐アーカイブ



学園章

はその拠点として期待されています。金沢工業大学では、これまで取り組んできた STEM 教育に「デザインとアート」を柱とした感性教育を融合すること、そして研究の充実と実践を行うことを目指しています。

五十嵐氏と金沢工業大学との関係は古く、80 年代には、当時のロゴマークや学園章をはじめとした金沢工業大学のユニバーシティアイデンティティのデザインを始まりとしています。その縁から今回の寄贈が実現しました。

五十嵐アーカイブは、ホワイエ、展示室 A、B、収蔵庫、研究室に分かれています。展示室 A は五十嵐氏の創作を紹介する常

会報こぶしとこぶし会ウェブサイトで2問を出題

クイズの学園 VOL 25

会報こぶしとこぶし会ウェブサイトが連動して、クイズを出題します。応募するにはそれぞれの答えが必要ですので、注意してください。

第1問 会報こぶし(74号)からの出題 /

? 6学部●学科へ (設置届出中)

誌面の中から当てはまる言葉を探してください。

第2問は こぶし会 ウェブサイトで出題 →



こぶし会

■ 応募方法

同封しているインフォメーションカードに、会報こぶしとこぶし会ウェブサイトを出題されたクイズの答え2つを記入してお送りください。正解者の中から抽選で20人の方に3,000円分の図書カードをお送りします。なお、当選者の発表は賞品の発送を持って代えさせていただきます。



■ 締切

令和6(2024)年  
10月2日(水)当日必着

■ 発表

正解は令和6(2024)年10月4日(金)にこぶし会ウェブサイト上で発表します。

こぶし会

検索

当選者は  
20人!!



# こぶし会 会計報告

## 令和5年度 保二会決算書

■収入の部 R.5/4/1-R.6/3/31

大科目	中科目	決算額 (円)
活動費収入	活動費収入	375,118
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		375,118

■支出の部

大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	148,259
助成費	助成費	226,859
慶弔費	慶弔費	0
合 計		375,118

## 令和6年度 保二会予算書

■収入の部 R.6/4/1-R.7/3/31

大科目	中科目	予算額 (円)
活動費収入	活動費収入	1117,000
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		1117,000

■支出の部

大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	170,000
助成費	助成費	917,000
慶弔費	慶弔費	30,000
合 計		1,117,000

## 令和5年度 こぶし会決算書

■収入の部 R.5/4/1-R.6/3/31

大科目	中科目	決算額 (円)
会費収入	正会員会費収入	41,910,000
	維持会費収入	3,644,000
基本財産運用収入	基本財産運用収入	40,536,976
雑収入	預金利息収入	71
	その他の収入	3,082,154
繰越金収入	繰越金収入	48,294,512
合 計		137,467,713

■支出の部

大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	705,950
事業費	会報費	21,228,482
	支部費	12,187,881
	企画費	1,557,503
同窓会助成費	保二会	375,118
	高専同窓会	300,551
	大学同窓会	3,071,102
学生支援事業費	学生支援事業費	500,000
積立金	積立金	9,153,681
繰越金	繰越金	88,387,445
合 計		137,467,713

## 令和5年度 金沢国際高専同窓会決算書

■収入の部 R.5/4/1-R.6/3/31

大科目	中科目	決算額 (円)
活動費収入	活動費収入	300,551
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		300,551

■支出の部

大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	83,187
助成費	在学生助成費	0
	事業助成費	217,364
繰越金	繰越金	0
合 計		300,551

## 令和6年度 金沢国際高専同窓会予算書

■収入の部 R.6/4/1-R.7/3/31

大科目	中科目	予算額 (円)
活動費収入	活動費収入	950,000
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		950,000

■支出の部

大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	416,000
助成費	助成費	504,000
慶弔費	慶弔費	30,000
合 計		950,000

## 令和6年度 こぶし会予算書

■収入の部 R.6/4/1-R.7/3/31

大科目	中科目	予算額 (円)
会費収入	正会員会費収入	44,670,000
	維持会費収入	4,000,000
基本財産運用収入	基本財産運用収入	14,719,000
雑収入	預金利息収入	1,000
	その他収入	3,100,000
繰越金収入	繰越金	80,000,000
合 計		146,490,000

■支出の部

大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	2,940,000
事業費	会報費	22,870,000
	支部費	24,765,000
	企画費	6,837,000
同窓会助成費	保二会	1,117,000
	高専同窓会	950,000
	大学同窓会	5,970,000
学生支援事業費	学生支援事業費	100,000
積立金	積立金	40,000,000
予備費	予備費	40,941,000
合 計		146,490,000

## 令和5年度 金沢工業大学同窓会決算書

■収入の部 R.5/4/1-R.6/3/31

大科目	中科目	決算額 (円)
活動費収入	活動費収入	3,071,102
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		3,071,102

■支出の部

大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	282,072
助成費	学科助成費	516,729
	在学生助成費	1,821,565
	事業助成費	450,736
繰越金	繰越金	0
合 計		3,071,102

## 令和6年度 金沢工業大学同窓会予算書

■収入の部 R.6/4/1-R.7/3/31

大科目	中科目	予算額 (円)
活動費収入	活動費収入	5,970,000
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		5,970,000

■支出の部

大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	198,000
助成費	学科助成費	2,457,000
	在学生助成費	1,880,000
	事業助成費	1,400,000
慶弔費	慶弔費	35,000
合 計		5,970,000

## 📣 母校に帰ってきませんか

工大祭、高専祭に併せて、金沢工業大学はホームカミングデーと卒業50年セレモニー、国際高等専門学校はホームカミングデーを開催いたします。久しぶりに母校に戻って旧交を温めてみませんか。

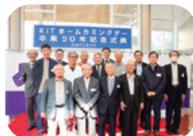
令和6(2024)年  
**10月19日(土)**  
開催(予定)



こぶし会

### 金沢工業大学 <扇が丘キャンパス>

- ホームカミングデー
- 卒業50年セレモニー



### 国際高等専門学校 <金沢キャンパス>

- ホームカミングデー



## 令和6年能登半島地震とその対応について

令和6年1月1日、16時6分、マグニチュード5.5、更に4分後にはマグニチュード7.6の規模を伴う奥能登地方を震源とした最大震度7の巨大地震が能登半島全域を襲い、輪島市や珠州市などには家屋の倒壊や火災、津波の発生さらには1～4mにも及ぶ土地の隆起、隣接する富山県や新潟県などには津波や地面の液状化現象を伴う地殻変動による数千年に一度といわれる未曾有の大災害をもたらしました。その結果、3月29日現在における石川県の被害状況としては、死者：244人(災害関連死15人を含む)、負傷者1,189人、安否不明者3人、避難者：8,109人、家屋の被害：約7万5千棟、断水約7千8百戸を数えています。ここに、亡くなられた方々に深甚なる哀悼の意を表すると共に被害に遭われた方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

この状況の中にあつて、本学園は直ちに在学生の安否確認を行うと共に家屋などの被害状況について鋭意掌握に努めております。目下、本学園の罹災状況調査により、経済的支援を希望する在学生としては、3月30日現在において、新入生(予定)：13名、学部1年次：8名、2年次：9名、3年次：17名、4年次：19名の計66名を数え、大学院修士2年次：3名の計69名の申請が提出されております。

従来、本学園は天災等の被害に遭われた在学生諸君に対して経済的支援を行って参りましたが、上記の被災した全学生に対して修学支援制度として令和6年度授業料の一律「半額免除」を決定致しました。また、拯友会からは見舞金として一律5万円と毎月一律2万5千円の給付型奨学金を令和6年1月～3月まで給付されることになりました。日本学生支援機構からは家屋が半壊以上の被災学生には、災害支援金として10万円が給付されることになりました。

昭和43年11月に開苑し、本学園の建学綱領を構成する「人間形成」の道場でもあった「穴水湾自然学苑」(令和3年に耐震性に課題があり、惜しまれながらも閉苑)のあった穴水町への支援活動(壊れた土塀や瓦礫などの撤去)として、2月

26日～27日及び3月11日～12日の2回に亘って、それぞれ18～20名(引率教職員4名を含む)の学生が日帰りの災害ボランティア活動に従事し、その際の経費については、こぶし会、拯友会そして旦月会から其々50万円ずつをご支援戴きました。

発災以来、各支部に於かれましては被災地に対する様々なご支援がなされてきていると思われませんが、この度こぶし会沖縄支部から52万7千円の義援金を石川県にお送り頂き、衷心より敬意を表すると共に感謝申し上げます。

過日、被災地を直接訪問し、倒壊した家屋、潰れた車両、割れた道路、崩れた崖などを目の当たりにして、一日も早い復旧・復興が急がれます。このような状況下にあつて、工学アカデミア計画の達成はもとより、被害に遭われた在学生諸君への支援と併せて本学園に学んだ8万名を数えるこぶし会会員の皆様の温かいご支援とご協力を今後とも引き続き切にお願い申し上げます。そして令和5年10月1日～令和6年3月末日までにご寄付を賜った方々のご芳名を五十音順に下記のように掲載させて頂き、御礼に代えさせて頂きます。

### 寄付者名一覧

令和5年10月1日～令和6年3月末日  
(敬称略・五十音順)

**【大学同窓会】**浅香憲一、渥美治幸、泉屋利明、出井隆稔、出原道雄、伊藤康紘、井上幸治郎、今井潤、岩本修介、植野博喜、梅沢敏之、遠藤茂、大森理紗、荻原智彦、奥田敦司、狩野雅明、烏谷伸、北村和光、窪田健太郎、黒田健宗、

### 寄付者銘板掲載基準

	名称	法人・団体	個人
1	栄誉功労顕彰	30,000 万円以上	3,000 万円以上
2	特別功労顕彰	10,000 万円以上	1,000 万円以上
3	功労顕彰	5,000 万円以上	500 万円以上
4	特別功績顕彰	1,000 万円以上	100 万円以上
5	功績顕彰	100 万円以上	30 万円以上



### 石川 憲一

特別奨学事業寄付金募集委員長  
金沢工業大学名誉学長

黒田壽二、小坂崇之、小林歩武、小林治季、斉藤盛雄、崎本優、佐々木康彦、佐藤晃、佐藤典久、猿渡弘之、塩谷四月、渋谷享史、清水隆幸、杉本栄三郎、関恒男、千徳英一、多賀裕、武田敬介、橘寿一、橘守、田邊毅、谷口勝則、田原正明、田村崇、津田政明、都倉泰信、中江友久、中澤優一、中嶋登、中田孝幸、中村幸蔵、中村信一、西田浩一、西村人、野口啓介、野村耕二、羽生田覚、飛田憲一、百万光生、藤澤均、藤田康仁、藤原和也、古田佳男、堀井信一、前川峰範、前田正英、松田真一、松本正裕、水野治彦、宮坂智明、宮脇浩、森内忠良、森本喜一郎、山崎雅裕、山田昇、山本和徳、山本崇、渡辺悦史

**【高専同窓会】**泉屋利吉、小中博之、野中正樹、万年太津雄、宮下正芳

**【保二会】**福光憲征、松下健児、吉本重幸 (全108名うち匿名22名)

### 【卒業生経営による企業】

(株)アクトリー、(有)インターニクス北陸、(株)エリックス、(株)学術社、(有)小林不動産、柴電気工事(株)、(株)SINN MIRAI、(株)タクミナ、タケダ機械(株)、(株)テムスシステム、(株)山本金属製作所 (全11企業)

## こぶし会の国際交流支援事業

こぶし会では平成27(2015)年度から、国際高等専門学校と金沢工業大学が実施している国際交流プログラムに支援を行っており、国際社会で活躍できる人材の育成に力を注いでいます。

この事業には、令和4(2022)年度は6つのプログラムに36名が参加しました。令和5(2023)年度には、前学期、後学期合わせて43名が異国の地やオンラインで語学、文化を学びました。

中でも、カンボジア・プノンペンでの「SDGsインターンシッププログラム」には、小村真輝さん(当時・電気電子工学科1年)が参加し、「寄付を集めるためのチャリティーアイデアを企画しなさい」という課題に取り組みました。小村さんは「自分たちが考えている以上に貧しさは深刻で、日々の生活をするのも窮している。自分は何ができるのか考えたい」と話しています。



留学に参加した学生たち

### 鎮魂 (敬称略)

下記の方々がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

<正会員>	相曾 昇平 (大学・経営・S55)	11月	能本 喜久雄 (大学・電気・S44)	仲井 好徳 (大学・電子・H2)	12月	西川 利巳 (高専・電気・S55)				
	松本 孝弘 (大学・経営・S53)		丸山 一久 (大学・土木・S48)			8月	西東 通男 (大学・電気・S52)	加藤 雅宏 (大学・機械・S62)		
	古口 倫史 (大学・機械・S63)		令和5年 1月			合田 弘司 (大学・建築・S52)	9月	江島 良一 (大学・建築・S54)	令和6年 2月	枝木 正弘 (大学・情報・S55)
	岸本 純孝 (大学・土木・S53)		水津 信一 (大学・電子・H2)			10月	淵田 裕美 (大学・情報・H元)	3月	池田 宏一 (大学・土木・S55)	
	田中 清 (大学・建築・S55)		4月			渡辺 和成 (保二会・電波高・S38)	越川 博史 (高専・電気・S46)	牛村 清志 (大学・電子・S53)		
	嘉門 敬 (高専・機械・S47)		森沢 浩 (大学・電子・S59)			11月	吉村 一克 (大学・情報・S55)	4月	荒木 秀雄 (大学・機械・S47)	
	織田 忠幸 (大学・機械・H8)		伊藤 勝久 (大学・建築・S52)			中山 吉郎 (大学・土木・S47)	上山 吉昭 (保二会・電波専・S39)			
平成3年 1月	佐々木 正也 (大学・土木・S59)	6月	藤井 実生 (大学・土木・S48)	川端 洋行 (保二会・工大附・S47)						
令和2年 7月	深谷 豪昭 (大学・機械・H9)	7月	中嶋 俊夫 (大学・電子・S54)	鈴木 克彦 (大学・電子・S56)						
令和4年 3月	四ツ谷 真一 (大学・機械・S47)		宮前 孝 (大学・機械・S51)							

#### 福島國雄先生

大学名誉教授

令和5(2023)年11月19日、逝去。81歳。昭和48(1973)年に助教として着任され、昭和50(1975)年に教授に昇任された。30年以上の長きにわたり、金沢工業大学の工学基礎教育の礎を築き、工学基礎教育セミナーの立ち上げにも尽力されました。



#### 中川多津夫先生

大学名誉教授

令和6(2024)年2月25日、逝去。86歳。昭和50(1975)年4月に助教、同年8月には教授に昇任されました。金沢工業大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程および博士課程の設置、立ち上げに尽力され、多くの学士、修士を育てられました。



### 令和5(2023)年春の叙勲、秋の叙勲で 次の方が受章されました。

叙勲などの慶事を誌面でご紹介いたしますので、こぶし会事務局まで情報提供をお願いいたします。

#### 旭日単光章 (春)

水越 裕治氏

株式会社アクトリー 会長  
(大学・経営・昭和46年卒)

#### 旭日双光章 (秋)

水野 一郎氏

金沢工業大学 名誉教授

## 皆さんの声をお寄せください!

会報委員会では、「こんな特集が読みたい」など会員の皆さんのご意見、ご要望を「会報こぶし」の制作に反映させていただきますので、事務局までお寄せください。また、連絡が取れなくなっていた卒業生の情報がわかりましたらお知らせください。

※インフォメーションカード、ホームページのお問い合わせ、こぶし会のE-mail等でお寄せください。

### 編集後記

◆今年1月1日、未曾有の大地震が石川県能登地方を中心に発生しました。犠牲となられた皆さまに対し哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。金沢市以南の市町では被害が軽微でしたが、金沢市以北の市町では想像を絶する大きな被害が出ています。全国のこぶし会会員の皆さんにおきましては今後とも継続的なご支援をお願いいたします。

◆新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して1年。ようやく以前のような日常に戻ってきたように感じます。こぶし会では、昨年から徐々に活動を再開し、こぶし祭や支部総会等を開催しました。助走の期間は終わり、本腰を入れて活動する時が来ました。コロナ禍の間に蓄えたさまざまな知識と経験を糧に、こぶし会活動を柔軟かつ活発にしていきたいものです。/記T.N

# 会員が楽しめる支部に 石川支部総会・懇親会

●令和6(2024)年4月27日／ANAホリデイ・イン金沢スカイ(金沢市)

総会では、米森信夫支部長(高専・機械・昭和45年卒)が「お世話になった学園に恩返し、昔の仲間と楽しめる支部にしていきたい」と挨拶し、松田真一会長(大学・情報・昭和50年卒)が「こぶし会としては今年から本格的な活動を再開したい。石川支部ももっと活発な活動を期待したい」と祝辞を述べました。

この後、懇親会が開かれ、出席者は終始和やかに歓談しました。また、懇親会の合間に校歌が流れると曲とともに歌う姿も見られました。



出席した皆さん

積木会

今秋、令和6(2024)年度

総会開催予定

日時、場所などの詳細は決定次第、こぶし会ウェブサイトに掲載します。

令和6(2024)年7月13日(土) [受付] 12:30~

## 47周年同窓会「宴」を開催！ 水野一郎研究室



M47

令和5年秋の勲章、旭日双光章受章  
令和6年度、金沢工業大学運営  
金沢工業大学 水野一郎研究室 47周年「宴」

- 場 所：山代温泉みやびの宿「加賀百万石」
- 問い合わせ：M47実行委員会 山岸敬広  
t.yamagishi@yamagishi-af.co.jp

### INFORMATION

こぶし祭、ボウリング大会など

## 令和6(2024)年も イベントが続々開催！

申し込み・詳細は



こぶし会

9月21日(土) ■ ゴルフ大会(白山カントリークラブ)

10月19日(土)・20日(日)予定 ■ こぶし祭

11月9日(土) ■ 全国一斉ボウリング大会

※10月18日(金)~11月17日(日)まで各支部で開催されます

## 大自然の中でBBQ サマーセッションin白山麓

バーベキューやドローンの操縦講習、白山麓キャンパスの見学などが楽しめます。会員の皆さんの参加をお待ちしております。

- 日 時：7月27日(土)・28日(日)
- 場 所：瀬女コテージ村(白山市)
- 募集人数：16名(先着順)
- 締 切：7月16日(火)



### 団体・業者からのDMや 電話にご注意ください！

こぶし会では、団体・業者への名簿の提供および寄付や商売の斡旋は一切行っていません。もしも、自宅や勤務先などに業者等からダイレクトメール(DM)や電話があった場合には、金沢工業大学同窓会とは無関係ですのでご注意ください。

### 【卒業生の皆さまへ】各種証明書発行について

大学の  
場合

■ 金沢工業大学ウェブサイト

<https://www.kanazawa-it.ac.jp/>

TOPページ → 右上「卒業生の方」→「各種証明書発行」



金沢工業大学

高専の  
場合

■ 国際高専ウェブサイト

<https://www.ict-kanazawa.ac.jp/>

TOPページ → 左上「卒業生の方」→「各種証明書発行」



国際高専

## こぶし会を日本一の同窓会組織に！ 同窓会維持会費納入のご案内

こぶし会では、平成7(1995)年度より「同窓会維持会費」制度を導入し、**満40歳以上の会員に年額1,000円を納入していただいております。**

80,000人を超える会員と各支部への活動支援、年2回の『会報こぶし』の発行など、同窓会活動の発展を図るために、ご理解とご協力をお願いします。対象となっている方には、払込取扱票を同封しています。

■会費の払込方法 郵便払込(3年分一括払い3,000円)

お近くの郵便局から同封の払込取扱票を利用して払い込んでください。住所等の訂正がございましたらインフォメーションカードにご記入の上ご返送ください。

### 対象者

- 保全会全会員
- 高専同窓会 令和7(2025)年3月末日で40歳以上の会員
- 大学同窓会 令和7(2025)年3月末日で40歳以上の会員

\*会費の納入は80歳までとさせていただきます。

\*令和3(2021)年度に3年分の同窓会維持会費の払い込みをされた方は、令和6(2024)年3月に期限が切れております。払込取扱票を同封させていただいた方はその該当者となりますので、払い込みくださいますようお願いいたします。

こぶし会  
事務局

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7番1号 金沢工業大学内

TEL.076-294-6375(直) FAX.076-294-0886

Eメール.kobushi@kanazawa-it.ac.jp URL.https://www.kobushi.jp



こぶし会